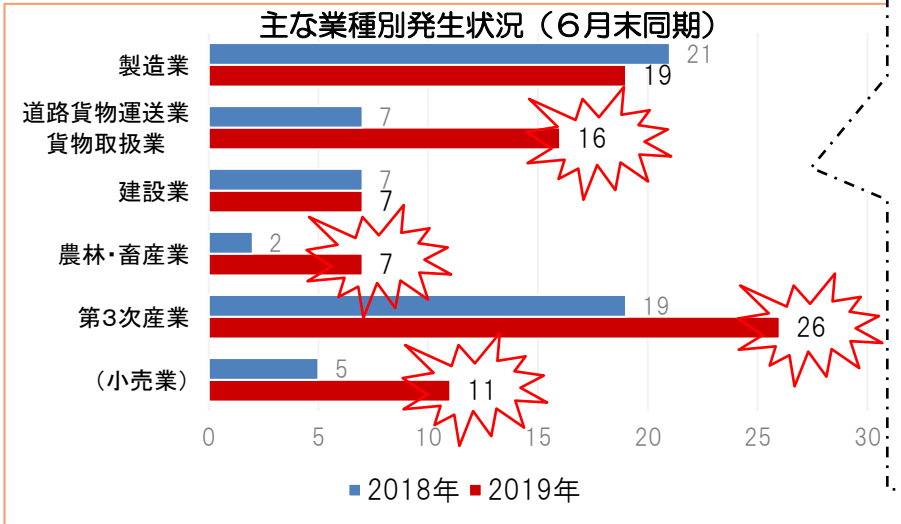




労働災害が大幅に増加しています

6月末現在、前年同期 27.1%の増加！

真岡労働基準監督署管内の令和元年6月末現在の労働災害は、前年同期に比べ**16人増加（27.1%増加）**した75人です。



6月末現在の主な労働災害発生状況です。製造業(2件減)及び林業(3件減)は減少したものの、

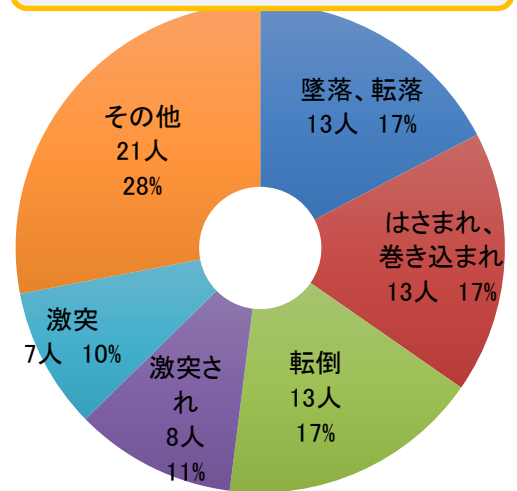
- 道路貨物運送業 128%増加
- 農林・畜産業 250%増加
- 第3次産業 36.8%増加
- うち小売業 120%増加

と増加しています。

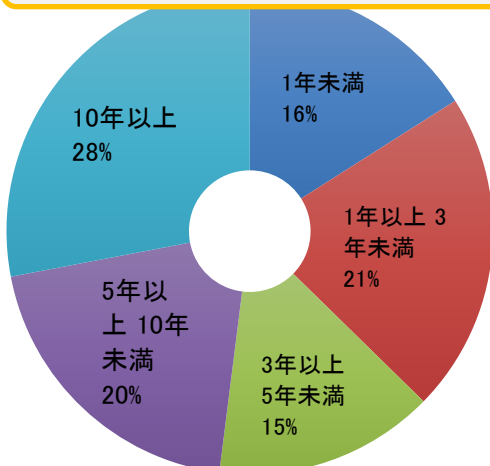
重大災害につながる「墜落・転落災害」や「はさまれ・巻き込まれ災害」と近年増加傾向にある「転倒災害」が多発しています

「墜落・転落」や「はさまれ・巻き込まれ」災害は、**設備的な問題**（手すりやカバー等の安全装置の欠落）や**作業手順を守らないこと**を原因とすることが多いです。職場の中に、「**不安全状態**」や「**不安全行動**」がないか**再点検**をしましょう。

事故の型別 労働災害発生状況



経験年数別 労働災害発生状況



本年6月末現在の被災労働者の半数以上が経験年数5年未満、また、3分の1以上が経験年数3年未満の労働者です。

KY（危険予知）やヒヤリ・ハット、また、RA（リスクアセスメント）などに積極的に取り組み、安全衛生活動を積み重ねて、職場の安全意識の醸成を図りましょう。

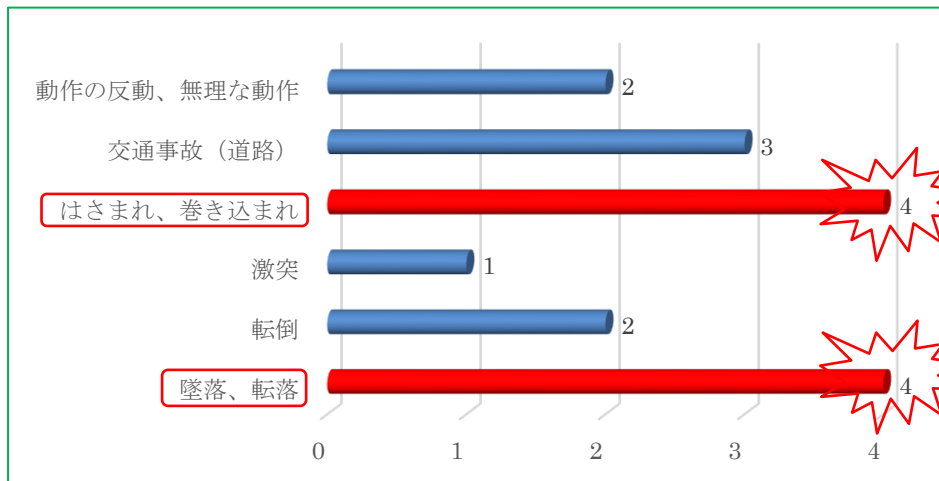
～ 2019.6月末 業種別労働災害発生状況 ～

◇ 製造業 チェックポイント⇒**機械の完全停止と作業スペースの確保**



機械を停止しなかったことや作業手順を守らずに機械に「はさまれ」災害が発生しました。また、作業中（移動中）に、設備等に身体を「激突」させる災害が多発しています。

◇ 道路貨物運送業・貨物取扱業 チェックポイント⇒**荷役作業時の安全確認**

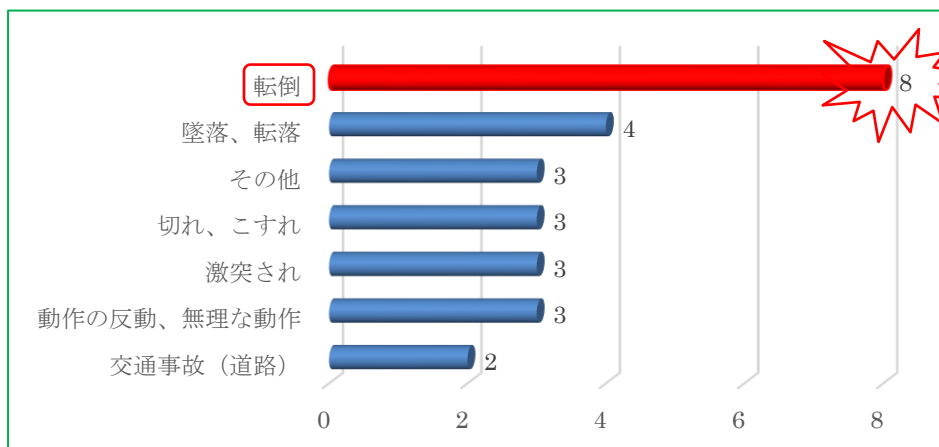


荷役作業中に多発しています。

荷役作業中に「荷」に身体の一部がはさまれる災害やトラックの荷台やプラットフォームから墜落する災害が発生しています。

荷役作業の作業手順を再確認しましょう。

◇ 第三次産業 チェックポイント⇒**転倒災害防止対策**



作業中や移動中の転倒災害が多発しています。

職場内の転倒災害の危険ポイントの洗い出し（危険マップの作製）と対策（見える化等の表示対策）、また、安全教育等による意識向上を図りましょう。

労働災害防止のため、ぜひとも労使一体となって、職場全体で「安全点検」を実施しましょう！！

真岡労働基準監督署〔所在地：真岡市荒町 5203 TEL：0285-82-4443〕